

## 子どもたちの困り感の解消等に向けて

岩国市内の中学校2校において、CSと地域協育ネットに取り組み、校長として退職後CSコンダクター、地域連携教育アドバイザー、地域連携教育エリアアドバイザーとしての取組が5年目になります。岩国市・和木町では、それぞれの地域の特色を生かしたCSや協育ネットの取組が進んでおり、その好事例を掲載した「岩国・和木CSだより」を毎週発行し、市・町内の教職員全員に広く情報発信しているところです。今後も子どもたちの困り感の解消等に向けて、一緒に取り組みたいと思っています。

地域連携教育エリアアドバイザー 藤井 明男



## 和木町の推進構想

和木町には、中心部にこども園・小学校・中学校が各1校、及び総合コミュニティセンター、図書館、体育センター、文化会館、美術館など教育施設が集中しており、コンパクトな学校教育、生涯学習環境が形成されています。本町の学校教育は、こども園・小学校・中学校と、同級生が同じ学校で過ごすことから、15年間を通して「単一の学園」と同様の一貫した教育が可能となります。また、60歳以上では高齢者大学の「和木大学」が開校され、生涯学習の場として活用されています。しかし、義務教育卒業後から壮年期の学習・活躍の場づくりや、町民の本音に根ざしたコミュニティの構築などが課題となっています。



こうした学校教育、社会教育、社会活動をそれぞれが単独で実施するのではなく、町ぐるみ「和木学園」という大きなくりの中で連携しながら進めることで、町民全てが、生涯いきいきと活動する場があり、町民総活躍のまちを実現することができます。各機関の連携のもと、様々な取組が生まれ、体制が整いつつあるのが成果と言えるでしょう。

この町ぐるみ「和木学園」構想を土台とし、学校と地域が連携して地域とともにある学校づくりの具体的な活動の一つに「和木町コミュニティ・スクール委員会」があります。地域協育ネット協議会とコミュニティ・スクール推進協議会をひとつにまとめ、平成27年度より始動しました。こども園・小学校・中学校で一貫した教育を進めることも含め、学校運営協議会・PTA・地域協育ネットコーディネーター・文化協会・体育協会・家庭教育支援チーム・すくすくフェスタ・こども園・小学校・中学校・教育委員会が一同に、「学力向上」、「心の教育」、「体力向上」に分かれ協議を



ます。「めざす子ども像」を考え、その後、幼稚園・小学校・中学校の全教職員で、具体的な取り組みを考え実践・年度末には検証し、次年度に繋げています。「思いを共有」する中でこれらが行われることの大切さをあらためて実感しているところです。

企業との連携による学習活動も実践しています。和木町には、日本最初の石油化学コンビナートを擁しており、学校又は地域と協働した取組として「コンビ学習」と称しています。正にコンビです。次世代を担う子どもたちに、企業の優れた教育力を地域に還元する取組として毎年行っています。

## 活動取組

### 和木町コミュニティ・スクール委員会



学校運営の充実に向けた取組

「和木町コミュニティ・スクール委員会」で学校、地域、家庭の代表が、めざす子ども像について話し合っています。その後、和木町の全教職員で具現化に向けた話し合いを行います。

### 和木中学校



地域と連携した学校支援に係る取組

家庭科の授業の一環として、中学校、保健相談センター、母子保健推進協議会、子ども園が連携することで、「乳幼児ふれあい体験」を行っています。

### 和木学園「防災講座」



幅広い地域人材を確保する取組

地域人材を講師に、和木学園・防災講座を開催しました。PTA活動の活性化もテーマに掲げており、研修の一環として役員が参加しました。

### 和木こども園、和木小学校、和木中学校



学校(園)が連携した地域ぐるみの取組

「本当のあいさつができれば、地域は変わるはず」です。普及と継続のため、「いつでも、できる時に、できる形で」活動を展開しています。